

国民大運動行動報告

第051号
2021年
2月12日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第204 通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 2・10 定例国会行動～



写真右端 主催者を代表して挨拶をおこなう中央社保協 住江憲勇代表委員（保団連会長）衆議院第2 会館前

2月10日、緊急事態宣言が3月7日まで延長されたなか、三者共催による定例国会行動は、自治労連の小原徹也中央執行委員の司会のもとで時間を短縮しておこなわれ、100名が参加しました。当日は、新婦人に全国から寄せられた、大軍拡中止、社会保障、教育の充実を求める予算要求にかかわる598,304人分の請願署名が新婦人の米山淳子会長より清水忠史衆議院議員に託されました。

前日の9日には、今国会の目玉法案とされているマイナンバー関連法案が閣議決定されましたが、衆議院予算委員会の質疑のなかでは、国民の生活を置き去りにしたコロナ対策や菅首相長男の接待疑惑など数々の政治とカネ問題、東京オリパラ組織委員会森喜朗会長の女性蔑視発言など、野党による厳しい追及がおこなわれています。当日は神奈川や埼玉デーなどの行動もおこなわれました。

末期の様相を呈している菅政権！

主催者を代表して挨拶をおこなった中央社保協の住江憲勇代表委員（保団連会長）は、「今、菅政権は末期の様相を呈している」とし、「この一年のコロナ禍で労働者の賃金、中小零細業者の収入保障はせずに社会保障を削る一方、大企業・富裕層には大判振る舞いだ」と厳しく批判。予算案についてもコロナ禍が収束する前提のものであり国民を愚弄するものだとし、この国会で問われているのは、国民生活を守るための十分な補償、感染拡大防止のための医療体制への支援・拡充、国庫負担の一斉検査などだと指摘。「税の配分の仕方など国民の監視と要求の突きつけが求められる」と訴えた。

国民のいのちと暮らし最優先の政治の実現を！

国会報告をおこなった日本共産党の清水忠史衆議院議員は、自身の感染経験をふまえ、高熱とつらい症状でも入院もできない一方で、入院拒否には過料を科すとする特措法・感染症法を批判し、全額国庫負担による一斉検査体制や医療機関への減収補てん、十分な補償など「今こそ、いのちと暮らしを守る施策が問われている」と訴えた。世界52ヶ国で実施の消費税引き下げ社会保障改悪阻止にむけ、全力でがんばると決意を述べた。



税金は、社会保障にこそつかって！

新日本婦人の会の米山淳子会長は、森会長の女性差別発言を許さず全国各地で声をあげていると報告。コロナ禍で社会保障の脆弱さが露わになり多くの女性たちが苦しめられているなか、大軍拡・社会保障削減の予算は許さないとし、全国各地から寄せられた59万8,304人分の署名を前に「声をあげてことをやめたら何も動かない。一緒に声を上げていきましょう」とよびかけた。



デジタル改革関連法案は、廃案に！

マイナンバー制度反対連絡会の衛藤浩司さん（全労連常任幹事）は、この法案の最大の狙いは、私たちの個人情報を民間企業にも利活用することだとし、欧州のような厳格な管理や罰則規定もないなかで、ビッグデータの一括管理であらゆる情報をマイナンバーカードに集約・利用することは、さらなる自己責任の押しつけや地方自治の多様性、独自性を失わせ、地方自治の侵害にもつながると指摘。「廃案に追い込むために世論を広げよう」と訴え、今後の院内集会への参加をよびかけた。



声を上げれば、運動はひろがる！

行動提起をおこなった安保破棄中実委の林竜二郎事務局次長は、この後夕刻からの、全労連女性部のよびかけによる森会長の辞任を求める行動への参加をよびかけ、浦添市長選挙について報告。伊礼ゆうき氏の健闘をたたえた上で、この間現地でもともにたたかうなかで「選挙では負けたが、軍港に関心を持った人は前回の倍の数になった」と強調。「声を上げれば運動が広がることを実感した」とし、あらゆるところで声を上げ、運動を広げていこうとよびかけた。

おしまいに、全日本民医連の宮澤洋子常駐理事によるマイクを通してのみのコールがおこなわれ、「全額国庫による一斉検査をおこなえ！」などと、参加者は国会に向けて怒りのこぶしを高く掲げました。

<当面の行動>

- 2月17日(水)11時～13時 介護署名提出集会 参議院会館 B101 オンライン実施
- 19日(金)18時～ 19日行動 衆院第2前 総がかり行動/全国市民アクション
- 22日(月)18時～ ウィメンズアクション 有楽町イトシア前
- 24日(水)12時15分～12時45分 三者共催定例会国会行動 衆院第2前
- 25日(木)13時30分～15時 デジタル改革関連法案に反対する2・25院内集会 衆院第2 第5会議室 13時～通行証配布 YouTube 配信あり

<第204通常国会(1/18～6/16) 今後の定例会国会行動の予定>

◆12:15～13:00 ◆衆議院第2 議員会館前 ◆隔週の水曜

※ 緊急事態宣言中は、時間を短縮して12:15～12:45までの開催とします。

◆ 2月24日、3月10日、3月24日、4月7日、4月21日、
5月12日、5月26日、6月9日



<写真上>コールに合わせてこぶしを挙げる参加者

<写真左>積み上げられた新婦人による全国から寄せられた
た予算要望にかかわる59万8,304人分の請願署名

各地方実行委員会の活動をご紹介します

滋賀 県民要求実現ニュース 2021年2月5日号

「春の総行動 開催」

春の総行動 開催



2月2日、昨年12月に県に提出した請願をもとに県との懇談を行う「春の総行動」を一日かけて開催しました。(写真上：実態を訴える参加者)

お昼に行われた決起集会では岡本恭治実行委員長が「私たちが自治体に求めるものは住民目線、誠実な「話し合い」です。総選挙に向かって皆さんの奮闘を期待申しあげたい」とあいさつしました。

情勢と決意として、滋商連、民医連、医労連から発言がありました。

社保協の田村誠事務局長がコロナ禍での検査の不足が切実である実体験について触れ、「声をあげていくことが大切。要求を言いに行ってもすぐ変わるのであればいいが、そうでない。私たちの存在はだから大切。皆さんで県政を変えていきましょう」と閉会挨拶をしました。

個人請願を整理した要請は92項目。その中から42項目に絞って回答を求め、それに基づいたやり取りを行いました。その中で県民の暮らしの切実な実態や課題を伝えました。得られた回答を今後の取り組みで生かしていきます。

滋商連・植田事務局長の発言

三日月県政は菅政権の流れそのまま。評価できるところもあるが消費税問題など私たちの思いと逆行している。クラスターが出た地域のお店の客足が途絶えた。県に要望に行ったがよい返事は返ってこなかった。(右上に続く)

県は対応が遅い。このような取り組みを繰り返しやっけて、団体でも申し入れに行かないといけないと思っている。業者の生の声をぶつけに行こうとアンケートを取って準備している。

アルゼンチンでは富裕層増税が行われた。増税分は医療設備の購入や奨学金に使うという。税金の使い方は本来こうあるべきだと思う。

民医連・楠神事務局長の発言

コロナ禍で社会保障制度は不十分だったと露呈した。非常事態に対応できない医療介護供給体制の脆弱性が明らかになった。政治そのものがもたらした。菅首相は「自助」を協調した。社会保障を矮小化、解体していくことを示している。怒りを覚える。共同を広げて「福祉力あふれる街づくり」を実現したい。

医労連・宮武さんの発言

コロナ中心の請願を出した。ベッドを増やして使用率は下がったが、入院できていない人がいる。ステージ3を上に向かって死守しているのかと思う。知事は県民を守ろうとしているのだろうか。保健所の体制含めて増員をしてもらいたい。PCR検査はできていない。今後、市中の感染拡大する可能性がある中で、検査をしっかりとすることを重点的に求めたい。病棟は大変。医療構想のダウンサイジングのようなことが進められている。

医療介護労働者の支援を求める。介護施設が病棟化している。現状をどう考えているのか確認したい。病棟の労働者の勤務はたいへん。体制があまりにも少ない。県に増やすよう求める。

20年以上続く県民要求実行委員会ですが、コロナ禍の中、県民の切実な要求を前面に粘り強く取り組みました。引き続き、参加団体の皆さんとともに県民の切実な声にもとづいて取り組みます。

<<今後の予定>>

- 2月10日(水) 自治体キャラバン(野洲市)
- 3月6日(土) 原発のない社会へ2021びわこ集会(膳所公園、生涯学習センター)
- 5月1日(土) 第92回メーデー(予定)
- 5月3日(月) 憲法の日集会(市民アクション・しが) ※予定